

おやこの広場通信



# はらっぱ NO.24



梅雨入りの遅かった今年は、おやこの広場の参加者にとっては足元の確保となりました。毎回多くの方が参加される中で、それぞれが楽しい体験の出来た一ヶ月でした。

<6月のおやこの広場から...>

## 初めてのお茶会

5月30日、6月1日の二回に亘って、おやこの広場初めてのお茶会が行われました。にわか仕立てのお茶室に、何年ぶりかのお茶にドキドキのお母さま方と初体験の子ども達が3~4組ずつのグループで入ります。お花からお道具やお点前の解説、お作法の指導を丁寧にしてくださる弓削先生に、一生懸命に聞き入るお母さま。中にはお点前の姿に目を見張り興味を示す子どももいました。珍しいお菓子を嬉しそうに頬張り、初めてのお抹茶を恐る恐る口に...。案外気に入った子どもも少なくなく、「お替わり！」と叫び声もあがりました。ホールに戻ってきた時の顔つきがどことなく神妙で、ほんのわずかの時間でもとても良い時と空間を味わってきたのだと思いました。こんなに小さくても出来ることがたくさんあるんだと、改めて感じさせられ、まだ無理と決め込まずいろいろな貴重な体験をさせてあげることの重要性を痛感しました。

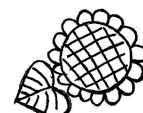
## 楽しい音楽遊び

6月は、「カエルの歌」を歌いましたが、カエルになってピョンピョン跳んでいるお子さんや、音楽遊び以外でも、歌いながら跳んでいるお子さんもいました。また、ピアノに合わせて歩く時、音が止むと、ピタッと止まりますが、その一瞬の静けさがおもしろくて、思わずクスッと笑ってしまうお子さんもいます。遊びや生活の中で、自然に歌や楽器に触れて、感情が豊かになってくれるといいですね。

最近、おやこの広場でいつものスタッフ以外の方とお目にかかる機会が多いので、少しご紹介します。

阿佐ヶ谷教会には「親と子を支える活動委員会」という組織があります。付属幼稚園「つぼみ会」の閉園を決めた時からその次に始める新たな活動の可能性を探り、「おやこの広場」や「こどもの心相談室」を立ち上げ、その後も引き続き支え見守ってくださっています。現在の委員長は、広場を時々覗いてくださる宮坂さん。スタッフの高橋さんと村山、そして、今回素敵なお茶会のためにご尽力くださった弓削さんもメンバーの一人です。その他にも、大村牧師や教会の方々10名で構成されています。また、5月から音楽遊びに関わってくださっている秋元さんは、初代スタッフの一人です。現在は埼玉大学の大学院で、「親子の遊び場面における乳児期の音楽的発達」について研究を続けておられます。

みな、阿佐ヶ谷教会のメンバーで、おやこの広場を応援してくださっています。これからも、折りを得て、新しい機会を持つこともあるかと思いますが、よろしく願います。そして、たくさんの教会の方々に支えられているおやこの広場であることを、覚えておいていただきたく思います。





<こんな時どうしますか？>

### 子どもに言葉をかけるとき

あなたはお子さんに対して、言葉かけが多いと思いますか。それともあまり言葉かけはしていないと感じますか。ここでの言葉かけというのは、「何々しなさい」というように指示する言葉かけや「何々してみようか？」と促す言葉かけを指します。私はどうかしらと思われる方は、試しに10分間、ご自身からは積極的な発信はせずにお子さんとお過ごしてみてください。お子さんが何かに集中しているような時でしたら言葉数が少なくなりますからそうではないときで、お母さまも家事などに追われている時間ではないときが適しているでしょう。ご自身がお子さんに対して、どのような時にどのような言葉をかけているか、客観的に見ることでご自分の姿を振り返ることが出来ると思います。

物事をテキパキと片付けたいタイプのあなたは、お子さんが何かにじっくりと取り組んでいる姿にもどかしさを感じて、「さっさとしなさい」とか「 をしたら？」というような言葉かけをしていませんか。また、まだ手先の動きが未発達であったり手順が不十分であることなどから、その結果を予測して行動の先取りをして、指示的な言葉をかけることが多くなっていませんか。「うちの子、最近なんだか反抗的な態度を取るようになったわ…」と感ずることがあったら、それは幼いながらに大人の言葉かけの多さに対して抵抗しているひとつのサインと考えていいでしょう。そんなときには、大人からの発信を少し減らしてお子さんがどのような行動をとるのかを見守ってみてください。失敗したり、困った結果となることもあるかもしれませんが、その時には助けてあげたり、やってはいけないことを伝えてあげてください。自分の意志で行なったことへの結果に対しての言葉かけの方が、きっと素直に入っていくでしょう。大人の指示的な言葉かけの中で育つお子さんは、そのうち指示がないと自分で考えることが出来なくなったり、いちいち許可をとらないと動けなくなったり、また失敗を恐れて新しいことにチャレンジ出来なくなったりすることが多いのです。

どちらかと言うと行動がのんびりめだったり、じっくりと物事に集中したいタイプのあなたは、お子さんに待たせることが多くなったり、お子さんの今したいという気持ちを見逃すことになってしまう場合があります。子どもの生活においては、「その時」に大きな意味を持つことがあります。集中力や持続時間が大人とは異なりますから、特にお子さんと一緒に過ごしているときには、そのチャンスをとらえ、すぐに対応することが要求されるという場面もあります。そのためには物事をさっさと片付けてスタンバっていたり、並行したり中断することが必要になることもあります。お子さんの行動が緩慢だと感じたり、覇気に欠けるなどと思われる時に、このような原因から来ていることがあります。また、お子さんがその気になったときに対応してあげなかったことで、お子さんが諦めてしまい、要求することが減ってしまうこともあります。

自分の気持ちを言葉や行動でまだ十分に表現出来ない広場エイジのお子さんに対しては、一緒にいる大人の言葉かけの働きが大きなものとなります。言葉をかけ過ぎることが良くないということは、実際に出来るかどうかはさて置いて多くの方がわかっていることでしょう。しかし、言葉かけをしないことも良くないことです。お子さんの行動を見守ることは大事なことです。が、「背中を押す言葉かけ」や適切な「促しの言葉かけ」が必要なこともあります。馴染みのないことや初めての体験を前にして惑っているお子さんへの一言が行動のきっかけになったり、出来たことを誉めてあげる言葉かけが自信となり成長につながることもあります。ご自分の関わりを振り返り、目の前のお子さんの姿を受け止め、気持ちを感じ取りながら、その場に即した素敵な言葉をかけられるように心がけていけるといいですね。

## でんごんぱん

\*夕涼み会:8月23日(木)pm5:00~7:00 皆様のご参加をお待ちしています。

\*9月は、5日(水)から始まります。 楽しい夏休みをお過ごしください。